

佐賀県鹿島市 *Press release*

報道機関 各位

部課名

商工観光課

件名	「第25回かしま伝承芸能フェスティバル」の開催について
概要	鹿島市は、古くから五穀豊穡や大いなる自然の恵みへの感謝の祈りを捧げる「面浮立」や「獅子舞」などが多く伝わる伝承芸能の宝庫です。新型コロナウイルスの影響で次世代への伝承が全国的に危惧される中、鹿島市における保存継承、地方からの情報発信及び地域活性化を目的に「第25回かしま伝承フェスティバル」を3年ぶりに開催します。「伝えなければいけないことがある。次世代への伝承は密にして！」是非、この機会に自慢の伝承芸能をお楽しみください。
説明口	<ul style="list-style-type: none">● 日時 令和4年9月11日(日) 15時30分～19時● 会場 祐徳稲荷神社 境内 ※ 雨天時は、祐徳稲荷神社 参集殿で開催します。● 出演団体<ul style="list-style-type: none">・ 中川内獅子舞保存会・ 浅浦面浮立保存会・ 祐徳稲荷神社(悠久の舞)・ 祐徳伶人会・ 不知火太鼓・ かしまほとめき会・ 民謡平成会・ 賑いODORIKOハマガール <p>当日は、祐徳門前商店街において「祐徳門前参道テラス(17時～)も同時開催されます。(詳細は、添付資料をご覧ください。)</p>
別添資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

本件に関する問合せ先

所属	商工観光課 観光振興係
氏名	岩屋 孝徳
TEL	0954-63-3412
FAX	0954-63-2313
Mail	rousei@city.saga-kashima.lg.jp

祐徳門前参道テラス

～2022 秋～

秋の夜風を感じながら、乾杯！

場所 祐徳門前商店街



実施期間 2022年9月11日(日)
伝承芸能フェスティバル同時開催!!!

2022年9月17日(土)
～10月15日(土)
毎週土曜日

時間 17:00～21:00



※写真は、以前開催した時の様子です

★テラス限定メニュー
となります。

参加店舗

- ・若松屋
- ・三都屋
- ・井手商店
- ・家督屋
- ・OMUSU81 by JUEI
- ・立花屋



【お問い合わせ】 祐徳門前商店街 (ゆうとく庵) TEL: 080-1532-3240

第25回 かしま フェスティバル 伝承芸能

観覧無料

令和4年

9/11

日曜日

15:30～19:00

日本三大稲荷 祐徳稲荷神社

※雨天時は祐徳稲荷神社 参集殿

主催/かしま伝承芸能フェスティバル実行委員会

フェスティバル出演演目 [順不同]

浅浦面浮立・三嶽神社獅子舞・祐徳稲荷神社悠久の舞
祐徳伶人会雅楽・不知火太鼓・かしまほとめき会
民謡平成会・賑いODORIKOハマガール

※新型コロナウイルス感染症の影響等により、出演団体・出演演目・イベントの内容が変更になる場合があります。
※七浦秋祭り奉納面浮立は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。

同時開催 祐徳門前参道テラス (裏面に詳細を掲載しています)

時間 17時～21時
会場 祐徳門前商店街(三都屋、若松屋、家督屋、井手商店、立花屋、OMUSU81 by JUEI)
お問い合わせ ゆうとく庵(080-1532-3240)

問合せ先 事務局: 鹿島市観光協会 TEL 0954-62-3942
鹿島市商工観光課 TEL 0954-63-3412

1. 三嶽神社獅子舞

団体名：中川内獅子舞保存会

三嶽神社(奈良時代創建)は、琴路岳の麓に鎮座し、地域の氏神様として尊崇されています。起源は定かではないものの、この三嶽神社には獅子舞が御祭礼の神事芸能として伝承されています。



三嶽神社の獅子舞は、毎年10月の第4土日曜日に開催される御例祭神幸祭の時に奉納されます。御神幸の道筋、道路の交差点、また氏子区域内の家々を巡り、清め払いと併せて悪魔払いをして回るのが獅子舞の重要な役目です。

獅子舞は、赤獅子(雄)と青獅子(雌)の2頭で、1頭に2人の青年が入っています。三嶽神社の獅子舞の特徴的な動作は、獅子頭を低くして舞うため「芋ほり獅子」とも呼ばれ親しまれており、重要な芸能文化として受け継がれています。

中川内地区は三嶽神社の氏子として神恩の感謝の念も厚く、また獅子舞の熱の入れ方も強いものがあり、区民行事として伝承を受け継いでいます。

2. 悠久の舞

団体名：祐徳稲荷神社

貞享4年(1687年)肥前鹿島藩主鍋島直朝公の夫人花山院萬子嬢が、朝廷の勅願所であった稲荷大神の御分霊を勧請された稲荷神社で、衣食住の守護神として国民の間に篤く信仰されております。



日本三大稲荷の一つに数えられ商売繁昌、家運繁栄、大漁満足、交通安全等種々の祈願が絶えず、参拝者は年間300万人に達しています。

神楽舞の起源は古く、古事記、日本書紀にある岩戸隠れで天鈿女命(あめのうずめ)が天照大神のために舞ったことに由来します。以降、神事の際、神様に奏上するために舞を舞うようになったのです。その後、神楽舞は継承されているものだけでなく、明治以降も新たに創作されています。「悠久の舞」もその一つです。「悠久の舞」は、1940年(昭和15年)に開かれた「皇紀2600年奉祝会」の際、時の楽長 多忠朝(おおのただとも)によって作曲・作舞されました。

当時は男子4人で舞われていて(男舞)、その後「悠久の舞」はほとんど舞われる事がなかったのですが、昭和39年、東京オリンピック開催の折、奉納されました。この時、多忠朝の長女 多静子(おおのしずこ)が女舞へ改作し、現在の「巫女舞」の形になったそうです。

※七浦秋祭り奉納面浮立は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。

※新型コロナウイルス感染症の影響等により、出演団体・出演演目・イベントの内容が変更になる場合があります。

3. 岳の新太郎さん 鹿島音頭

団体名：かしまほとめき会

さびしくなった鹿島の街を女性の手でにぎわいを取り戻そうと結成された女性集団です。

「花と酒まつり」はじめ市内各地域のいろんな催し物に参加をしています。博多で行われる港まつり「どんたく」にも毎年参加してきました。また年に一回「ほとめき祭り」を取り組みます。カラオケ・日舞・フラダンス・バナナのたたき売り・参加者全員で歌うコーナー・抽選会など取り組み、年々参加者も増えています。踊りで皆さんを「ほとめいて」いますが、レパートリーは地元の民謡3曲です。「岳の新太郎さん」と「鹿島音頭」「鹿島一声浮立」です。黒紋付に編み笠がわたしたちの制服です。

月一回の例会は社会のいろんな問題や身の回りの問題などについての学習等取り組みます。希望者は着物の着付けの勉強会なども取り組んでいます。



【演目】岳の新太郎さん 鹿島音頭

4. 花嫁行列

団体名：民謡平成会

本部は伊万里市で、洲 英詔先生指導のもと、会員は2歳の子供から80代の高齢者まで現在百数十名が在籍しており、鹿島市では民謡平成会鹿島として地元のイベントに出演、活動しております。

本日は、地元鹿島の酒造りの時に歌われる酒造り唄から始めて、昔ながらの花嫁道中。昔は婚礼の時、新郎の家から新婦、花嫁さんのところまでタンス長持ち唄にのせてタンス長持ち嫁入り道具を届けていたと言われ、昔ながらの花嫁道中の再現です。

本日は、鹿島出身の嬉野伝統芸能保存会のクイーン 山崎華子さんに花嫁衣裳を着て頂いて行列に参加してもらいます。



5. 雅楽

団体名：祐徳伶人会

神社の祭典のうち、年7回の主な祭典に雅楽を演奏奉仕しています。

メンバーは門前商店街を中心とした地元で構成、毎月20日と祭典前日の練習、年1回3～4日の夏期講習を宮内庁楽士の指導のもとで行っています。

【演目】
人長の舞 其駒
越天楽
五常楽 急



6. 浅浦面浮立

団体名：浅浦面浮立保存会

浅浦面浮立は、今から約400年以上前の戦国時代、豊後の国大友軍に攻め込まれ苦戦に陥った時、肥前の国の龍造寺家の家臣が鬼の面にしゃぐまをつけ、鉦・太鼓に合わせて敵軍に攻め入り見事に勝利を収め、その戦勝祝いに踊ったことに始まると伝えられています。

浅浦地区では、秋の彼岸の中日に毎年部落の年中行事として面浮立を踊ります。最初に古湯堤に祀ってある水神社に奉納、次に氏神様である救世神社、先祖の霊を祀ってある元光寺・円福寺に奉納、また家内安全・五穀豊穡の感謝を込めて、地区内数十箇所まで奉納して廻ります。最後に戦没者の霊を祀ってある忠魂碑の前で奉納し、彼岸面浮立の一日を終了します。

【演目】
奉願道・神の前 かんたん 夜かん導き 村わたし 松ばやし 尾の武



7. 創作舞踊

団体名：賑いODORIKOハマガール

毎年、7月13～15日に開催される「浜町祇園祭り」の奉納舞踊団体「奉納踊り子」が母体となり、踊り子経験者から希望者を募り、2012年に結成しました。

活動の場は浜町祇園祭りとどまらず、近隣の市町村のお祭りやイベント、中でもJRさん主催のイベントでは、博多駅や観光列車のおもてなしなどにも出演させて頂くなど、どんどん広がっております。

「ハマガール」の名前の由来は、浜町在住や浜町出身、勤務など浜町にご縁がある、という意味と「いつも心の中に浜がある」という意味をかけてつけられました。

歌謡曲に日本舞踊をアレンジした独特の振り付けで、お子さんからお年寄りまで思わず踊り出したいくなるような楽しい踊りが特徴です。愛と感謝を込めて、笑顔で踊ります。

【演目】海苔つみ音頭 涙そうそう め組のひと 鳥唄

8. 不知火太鼓

団体名：不知火太鼓

昭和53年に結成し、現在まで45年間活動を続けています。

団体名は、有明海上で夜になると炎の様に見える現象「不知火」に由来し、「見る人の心に灯をともす」の心意気で活動しています。

イタリアミラノや香港など海外でも活動し、ジュニアチームでは、日本太鼓ジュニアコンクールにて多数の賞を頂いています。

不知火あばれ打ち
トンパネ
烈風
喧嘩屋台
羅刹
宴



出演スケジュール

【メイン会場】…祐徳稲荷神社

15:30 開式
:40 三嶽神社獅子舞
16:00 祐徳稲荷神社(悠久の舞)
:20 かしまほとめき会
16:30 民謡平成会
:55 祐徳伶人会(雅楽)
17:25 浅浦面浮立
18:05 賑いODORIKOハマガール
:25 不知火太鼓

【道行会場】…門前商店街

17:00 民謡平成会
:30 不知火太鼓
18:30 賑いODORIKOハマガール

※天候その他の理由により、出演時間や順番が変更になる場合があります。
※雨天時は道行きの出演は中止です。

祐徳稲荷神社



創建は江戸時代の貞享4年(1687)。日本3大稲荷のひとつに数えられ、総漆塗り極彩色の華麗な社殿は、鎮西日光とも称されます。商売繁盛・家運繁栄などの御利益で知られ、年間300万人もの参拝客で賑わい、最近では縁結びのパワースポットとしても注目を集めています。境内や日本庭園には、桜やツツジ・紅葉など、四季折々の美しい自然が彩りを添えます。また外苑には、鹿島藩鍋島家や神社ゆかりの宝物等を展示する祐徳博物館があります。

協賛・協力企業及び団体(順不同 敬称略)

- ・鹿島医会
- ・(有)鹿島防災具店
- ・東亜工機(株)
- ・佐賀西信用組合
- ・佐賀県有明海漁業協同組合
- ・(株)宮園電工
- 鹿島市支所
- ・(株)兼茂
- ・鹿島歯会
- ・佐賀県農業協同組合
- ・祐徳自動車(株)
- 鹿島支所
- ・祐徳観光商店連盟
- ・肥前通運(株)鹿島営業所
- ・鹿島商工会議所
- 祐徳稲荷神社
- ・(株)Aコープ九州ララベル店
- ・ビッグサム D&P
- ・高木建設(株)
- ・(一社)鹿島市観光協会
- ・幸姫酒造(株)